

タマネギベと病に注意してください

1月16日の病害虫防除所の巡回調査によると、県南部の一部圃場でタマネギベと病の発生が確認されました(図1)。平成30年度は、11月下旬から12月にかけて気温が平年より高く、12月の降水量は多い傾向で、本病の発生に好適な気象条件となったため、例年3~4月に確認される全身感染株が本年は1月に確認されたものと考えられます。さらに、12月25日発表の広島地方気象台の3か月予報によると、向こう3か月の気温は高く、降水量は平年並か多いと予想されており、**圃場での発生が平年より早くなる**ことが懸念されます。

圃場をよく観察し、全身感染症状の株は見つけ次第抜き取り処分を徹底するとともに、予防的な薬剤散布に努めてください。

(防除上の参考事項)

- (1) 秋冬期にべと病に感染した株は大部分が無病徴のまま越冬し、暖かくなるにつれて発病して全身感染症状(図2)を呈し、春先の強力な伝染源となる。
- (2) 本病は、気温15℃前後(4月~5月上旬)で、雨が多いと二次伝染が盛んに起こり多発生しやすくなる。
- (3) 本病は、多湿時には病斑上に白色または灰白色の分生胞子を形成(図1、2)し、これが風雨で飛散し、二次伝染源となって、急速な蔓延の原因となる。分生胞子の飛散範囲は広いため、地域一体となった防除が必要である。
- (4) 発病後の薬剤散布では防除効果が劣るため、予防散布が望ましい。特に発病を確認した圃場では葉によく付着するように薬剤散布を行う。雨天等の天候や薬剤の残効性を考慮しながら、7~10日間隔の防除を行う。なお、薬剤感受性の低下を防ぐため、同一系統の薬剤の連用は避ける(表1参照)。
- (5) 農薬の使用に当たっては、収穫前日数を考慮して農薬使用基準を遵守し、安全・適正に使用するとともに周辺農作物等への農薬飛散防止対策を行う。
- (6) タマネギのべと病菌は**ネギやワケギにも感染**し、二次伝染源となる。



図1 現地で発生したタマネギべと病の全身感染株



図2 春先のタマネギべと病の全身感染株

表1 タマネギべと病の防除薬剤

平成31年1月現在

系統名	薬剤名	希釈倍数	使用基準		成分名
			時期	回数	
フェニルアマイド系剤を含む	リドミルゴールドMZ	1,000倍	収穫7日前まで	3回以内	メトラキシルM+マンゼブ
	フォリオゴールド	800~1,000倍	収穫7日前まで	3回以内	メトラキシルM+TPN
メトキシアクリレート系剤を含む	アミスター20フロアブル	2,000倍	収穫前日まで	4回以内	アゾキシストロビン
	アミスターオプティフロアブル	1,000倍	収穫7日前まで	4回以内	アゾキシストロビン+TPN
	シグナムWDG	1,500倍	収穫7日前まで	3回以内	ピラクロストロビン+ボスカリド
	メジャーフロアブル	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	ピコキシストロビン
シアノアセトアミド系剤を含む	ホライズンドライフロアブル	2,500倍	収穫3日前まで	3回以内	シモキサニル+ファモキサドン
	ブリザード水和剤	1,200倍	収穫7日前まで	3回以内	シモキサニル+TPN
	カーゼートPZ水和剤	1,000倍	収穫3日前まで	3回以内	シモキサニル+マンゼブ
	ベトファイター顆粒水和剤	2,000倍	収穫7日前まで	3回以内	シモキサニル+ベンチアバリカルブイソプロピル
	ダイナモ顆粒水和剤	2,000倍	収穫3日前まで	3回以内	アミスブルロム+シモキサニル
モルフォライド系剤を含む	フェスティバルM水和剤	750~1,000倍	収穫7日前まで	3回以内	ジメトモルフ+マンゼブ
	フェスティバルC水和剤	600~800倍	収穫7日前まで	3回以内	ジメトモルフ+銅
	ザンプロDMフロアブル	1,500~2,000倍	収穫7日前まで	3回以内	ジメトモルフ+アメトクトラジン
有機銅剤	ヨネポン水和剤	500倍	収穫7日前まで	5回以内	ノニルフェノールスルホン酸銅
無機銅剤	Zボルドー	500倍	-	-	塩基性硫酸銅
	クプロシールド	1,000~2,000倍	-	-	塩基性硫酸銅
有機硫黄剤	ジマンダイセン水和剤	400~600倍	収穫3日前まで	5回以内	マンゼブ
	ペンコゼブ水和剤	400~600倍	収穫3日前まで	5回以内	マンゼブ
有機塩素剤	ダコニール1000	1,000倍	収穫7日前まで	6回以内	TPN
	ランマンフロアブル	2,000倍	収穫7日前まで	4回以内	シアゾファミド
その他	ドーシャスフロアブル	1,000倍	収穫7日前まで	4回以内	シアゾファミド+TPN
	フロンサイド水和剤	1,000~2,000倍	収穫7日前まで	5回以内	フルアジナム
	フロンサイドSC		収穫3日前まで		
	プロポーズ顆粒水和剤	1,000倍	収穫7日前まで	3回以内	ベンチアバリカルブイソプロピル+TPN
	カンパネラ水和剤	750~1,000倍	収穫7日前まで	3回以内	ベンチアバリカルブイソプロピル+マンゼブ
	ベネセット水和剤				
	ベジセイバー	1,000倍	収穫7日前まで	4回以内	ベンチオピラド+TPN
	レーバスフロアブル	2,000倍	収穫前日まで	2回以内	マンジプロバミド
	ジャストフィットフロアブル	3,000倍	収穫7日前まで	3回以内	フルオピコリド+ベンチアバリカルブイソプロピル
	ピシロックフロアブル	1,000倍	収穫前日まで	3回以内	ピカルブトラゾクス

「-」は、登録制限無しを示す。

農薬の使用に当たっては農薬使用基準を厳守するとともに、ドリフトに注意するなど、安全・適正に使用するようお願いします。

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。

アドレスは、<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/239/>です。

